



や・ま・ぐ・に

就任 あいさつ

日頃より施設ご利用者をはじめご家族、地域の皆様、等々多くの方々に温かいご支援とご協力をいただき、心よりお礼と感謝を申し上げます。

この度、令和7年4月1日付けで廣幡施設長の後任として施設長に就任しました平林と申します。

当法人には平成7年より支援員として勤務をさせていただきました。学生から（修行のつもりで）障害福祉の世界に飛び込んではや30年近くの年月が経ち、これまでに多くのご利用者や先輩方から色々なことを学ばせて頂きました。（周囲からはすぐに辞めるだろうと思われていたそうです）

施設長という職責の重大さに戸惑っておりますが、ご利用者には「あたりまえの生活」「主人公の暮らし」が提供できる施設づくりを職員一丸となって目指していきたいと思ひます。また、地元住民の皆様からも信頼される施設となれるよう日々努力して参りますのでご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平林 啓邦（ひらばやし ひろくに）

創立三十五

就退任 あいさつ

平成元年の開所から利用者さんと共に歩んできた支援現場に近い職を卒業させて戴くこととなりました。開所当初の利用者の皆さんは、不安と混乱を抱えて入所され、まだ、信用できるか判らない職員と関わりながら日々を過ごされておりました。毎日どこかでトラブルやハプニングを続出していた当時の無知な自分が思い出されます。正直なところ、この先続けられるか不安を抱えながらの日々でした。本当に落ち着いた姿を拝見すると歳を取った現実とが重なります。（笑）

利用者様、保護者様、職員の皆様、関係者の皆様心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

定年という節目で、頼もしい平林施設長に後任をお願いし、4月からは法人事務長という一番向いていない（笑）要職を仰せつかることとなりました。皆さんに教えを請いながらリスタートさせて戴きます。新生京北やまぐにの郷の事務方と法人機能強化の一端をお手伝いさせて戴きたく思ひます。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

廣幡 顕一（ひろはた けんいち）

『自閉スペクトラム症』って？？？（第5回）

今回は以前の復習になるかもですが、簡単にまとめましたのでフムフム（'Д'）と見返していただければと思います。

－ASD（自閉スペクトラム症）のある人と接するときの9つのポイント－

- 1.言葉は短く具体的且つ簡潔に伝える・・・長い説明や、一度にたくさんの指示は混乱のもと。
×「おやつよ、うろうろしないで椅子に座って食べてね」
○「おやつ食べるよ」「椅子に座ってね」
- 2.視覚的な手段を使って説明する・・・短く分かりやすい言葉と絵や写真を提示することで、理解しやすく安心できます。
- 3.して欲しいことを具体的に伝える・・・『○○しない』という否定語でなく、「○○しましょう」と肯定語で伝えます。
- 4.怒らず褒める・・・「ダメなこと」を注意するのではなく、「できたこと」を褒める。
- 5.スケジュールが変わるときは事前に説明する・・・突然の変更が苦手なので、事前に伝えて不安感を軽減する。
- 6.指示のタイミングを考える・・・行動中の制止や変更指示は混乱を起こすので、行動を始める前に終わりと次の行動を伝える。
- 7.感覚過敏に配慮する・・・特定の音や、活動、場所を嫌がったりすることがあるので、環境調整で工夫する。（耳栓、サングラス等の利用も効果的）
- 8.何もすることがない状態を避ける・・・手持ち無沙汰で不安定になる傾向がある。空白の時間を作らないようにする（読書など興味のあるアイテムを活用）
- 9.困ったときにヘルプを出せるようにする・・・困っていることを理解できない、またその状況を伝えるのが苦手。（察してきっかけを作る）

・・・と、こんな感じですが、何か気が付かれたのではないのでしょうか(*^▽^*)／
そうです、全ての人に通じませんか！ 一般人は、我慢したりごまかしたりと要領よく生きてきていますが、自閉症の方たちは、我々以上に顕著に感じて対処できずに混乱しパニックに陥ってしまうこともあるわけですね。

自閉スペクトラム症の方々が全てに反応するわけではないですが、少なくとも我々の日常もこのポイントを身につけていれば、気持ちよく暮らせること間違いなしです。障害者理解が私たちの道しるべになっていると思われませんか(^_^)

編集後記

広報誌が再スタートして1年を迎えました。

これまでの広報誌をお読みいただき、障がいのこと、障がいがある方のこと、京北やまぐにの郷の日々の過ごし方等を知っていただけたのではないのでしょうか。

今回掲載しています新規事業につきましては、京北地域の皆様方にご理解を得ながら進めて参りますので、よろしくお願いいたします。進捗状況は、今後も紙面等でお伝えしますので、引続き、一読いただければ嬉しく思ひます。

Uchi

2025 スローガン

「みんなで わくわく♪」

活動担当、グループ担当、フリー職員など垣根を越えて協力し合い、「みんなでワクワク」できる京北やまぐにの郷を目指しましょう！！！！

発行 社会福祉法人 京都杉の木会 京北やまぐにの郷
〒601-0314

京都市右京区京北大野町菖蒲ヶ回互10-2

TEL : 075-853-0571 FAX : 075-853-0372

URL : <https://yamaguni.jp>

✉ : keihoku802310@yacht.ocn.ne.jp

新規事業計画を進めています

前号でも掲載していました、国の施策でもある入所施設利用者の地域移行等意向確認義務化の指針に基づき、京北やまぐにの郷でも担当者の選任を行い支援を開始しています。

利用者への支援の流れとしては、下記のようなステップで示されています。

意思形成支援

適切な情報、認識、環境の下での意思形成のための支援

意思表示支援

形成された意思を適切に表明・表出するための支援

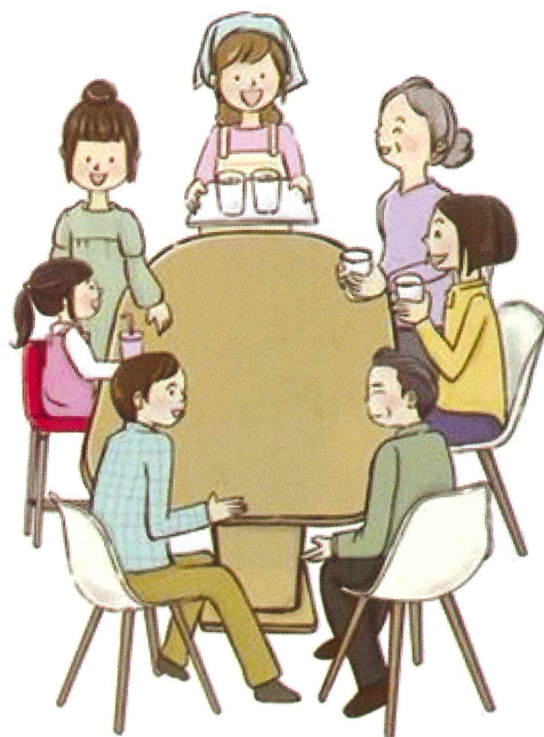
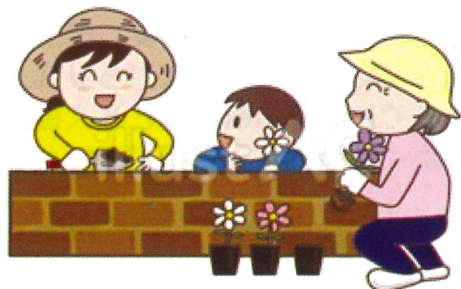
意思実現支援

本人の意思を日常生活・社会生活に反映するための支援

上記ステップの『意思形成』『意思表示』では、担当者を筆頭にチームの支援力向上、つまりは人材育成によるソフト面でクリアすることはできます。ですが、『意思実現』においてはハード面の整備が必至となってきます。

法人では、昨年度様々な角度から検討した結果、この京北の地での地域生活が叶うよう進めることとしました。

「法人が大切にしている3つのこと」の1つでもある～地域社会との共生と地域貢献～の更なる充実のため、障害者のみならず子供からお年寄りまでみんなの笑顔あふれる場所となることを目指して取り組んで参ります。



イオン
幸せの黄色い
レシート贈呈式

4/11

皆様のご厚意が利用者さんの豊かな生活に繋がります！
イオンモール京都五条店が実施されている『幸せの黄色いレシートキャンペーン（通称：イエローレシートキャンペーン）』は、毎月11日に実施されています。登録された団体の投函箱に黄色いレシートを投函された総額の1%をイオン様がギフトカードで寄贈されるという取り組みです。今回2万7600円分のギフトカードを受領しました。もし、11日にイオンモール京都五条店へ行かれたならば是非、京北やまぐにの郷の投函箱に入れて下さいね！ご支援よろしくお願い致します。

ハンドベル隊 活動レポート

ハンドベルやってまーす!!



若かりし頃「もう20年位前になるかなあ～」ユニホームを着て取り組んでいたハンドベル♪昨年より、よかクラブにて復活しました。早速クリスマス会にてお披露目！まだまだ未完成ではありますが地域の行事でもご披露したいなあ…と、目標をもって練習に励んでいます♪